

けんかした山（1年）

●指導目標

場面の様子を想像しながら読み，お話を読む楽しさを味わう。

- 場面ごとの山の様子や登場人物の心情を想像しながら読む。【読む】
- 語や文のまとまりや話をの内容を考えて音読する。【読む】
- 知らせたいことを選び，事柄の順序を考えながら相手にわかるように話す。【話す・聞く】

●教材について

本教材は，入門期の前半の学習もひととおり終えた時期に扱う，起承転結のはっきりしたひとまとまりの物語である。さらに漢字の学習が始まる教材でもあり，物語の中に出てくる「山」「日」「月」「木」などを話の内容を学習しながら，絵や形からできた漢字として理解していくことができる。また，すっきりとした文章構成により，1年生の児童も場面の移り変わりや時間の経過がはっきりとらえられる。山の表情が表れるようなタッチで描かれた挿絵，場面を想像させるような表現や会話文からなる構成は登場人物に共感したり，場面を実感するような学習の展開が期待される。この教材の学習をとおして，物語の中に文としては表れていない部分の会話や心内語を思い浮かべ，発想を自由にふくらませ，物語を楽しむ姿勢を育むことにつながっていくと考える。

学習にあたっては，以下のことに留意し，指導にあたることとする。

（１）音読を有効にとり入れる

文としてのまとまりを意識させることのみでなく，声に出して文章を繰り返し読むことは，内容を理解する助けにもなる。5つの場面の読み取りの時間には，学習の初めと終わりにその場面の音読を取り入れるようにする。心情を読み取る手がかりとなったり，思いを込めて読むきっかけとなるのではないかと考える。

（２）想像したことを書く場面・話す場面・伝える場面を設定する

山の表情が描かれたワークシートの吹き出しに会話を想像して書かせたり，お面などの小道具を用いて登場人物になりきって，自由に思いを話したり，友達に伝えたりする場を設ける。この場の設定が，児童の発想を広げ，物語を自分のものとして楽しくとらえることにつながるのではないだろうか。なかなか言葉で言い表すことができないでいる児童も，友達の考えが思考の手助けになり，少しずつ自分なりの思いや考えをもてるようになると思う。

（３）5つの場面を意識させる

文章構成は場面の移り変わりもとらえやすく，また，場面ごとの挿絵も山の変化を表すように描かれているが，場面をまとまりとして意識をさせるため，5つの場面の学習の過程において，児童が場面ごとの挿絵からイメージする言葉を生かし，各場面にタイトルをつけていきたいと考える。1は「ぷんぷん山」2は「かんかん山」3は「どかん山」4は「しくしく山」5は「にっこり山」というように山の名前をタイトルにすることにより，全体のあらすじを追いやすくし，さらに児童が場面や心情の変化に気づく手だてとなるのではないかと考える。

● 学習指導計画（全 10 時間）

時	過程	学習活動	評価規準および方法
1 時	つかむ	○ 題名から物語の内容を想像し、全文を通読した感想を発表する。 ・ 友達とけんかした経験についてもふれておく。	話聞 ：全文を通読して、感じたことや興味をもったことを話している。 （発表）
2 時		○ 漢字の読み方、書き方について理解する。 ・ ノートやワークシートに練習する。	関 ：漢字に対して興味をもとうとしている。 （態度）
3 時		○ 挿絵と文章を対照しながら読み、登場人物やあらすじをつかむ。	読 ：挿絵や言葉を手がかりに、登場人物やお話の大体を読み取っている。 （発表）
4 時	まなぶ	○ けんかばかりしている 2 つの山の様子を読み取る。	読 ：けんかをしている二つの山や周りの登場人物の様子を読み取っている。 （ワークシート・発表）
5 時		○ お月さまの言葉から、夜の山や森の様子を読み取る。	書 ：登場人物の言葉を想像して書いている。 （ワークシート）
6 時		○ 山の様子、火に包まれた森、小鳥たちや動物たちの様子を読み取る。	話・聞 ：登場人物の言葉を想像し、気持ちが表示するように発表している。 （発表）
7 時		○ お日さまの気持ちや雲の様子、雨の降る様子、火の消えた山の様子を読み取る。	読 ：お日さまやしょんぼりした山の様子を読み取っている。 （発表・音読）
8 時		○ 時の流れとともに緑の山に変わっていった二つの山の様子を読み取る。	書 ：登場人物の言葉を想像して書いている。 （ワークシート）
9 時 （本時）		○ 場面の様子を想像しながら全文を通読し、好きな場面について話し合う。 ・ 好きな場面を発表する。 ・ 感想をまとめる。	話・聞 ：お話の中の好きな場面を明確にして話している。 （発表・話し合い）
10 時	ひろげる	○ ミニ音読発表会をする。 ・ グループごとに役割を決めて読み合う。	関 ：場面の变化や登場人物の心情を表すように読もうとしている。 （音読）

●本時の展開（本時 9 / 10）

目標

- ・場面の様子を想像しながら全文を通読し，好きな場面について話し合うことができる。

●展開例

学習活動	指導上の留意点	評価・支援
1 めあてを確認する。		
『けんかした山』のおはなしのなかから，好きなところを みつけてみんなにしらせよう。		
2 5つの場面を音読する。 ・全員読み ・役割読み	○「ぷんぷん山」，「かんかん山」など，以前の学習でつけたタイトルを用い，場面の移り変わりをおさえる。 ○登場人物の気持ちを考えて読むように話す。 ○お日さま，お月さま，ことりたちの会話を役割を決めて読むようにする。	読：登場人物がしたことや言ったことを思い浮かべながら読んでいる。 （音読） ○お面などの小道具を活用し，登場人物になりきって読む手だてとする。
3 お話の中から好きな場面を選び，発表する。	○場面ごとの挿絵を用いて発表させる。 ○その場面がなぜ好きなのか，理由をつけて話すようにする。 ○理由を述べる時の話し方について見本を示す。	話・聞：好きな場面を明確にして話している。 （発表） ○うまく発表できないときは，挿絵の中から理由を見つけさせたり，発表の中で必要な言葉を補ったりする。
4 『けんかした山』のお話の感想を書く。	○お話の中で自分が感じたことや伝えたいことを自分の言葉で書くようにする。 ○相手意識をもたせ，山にあてて書く形にする。	書：感想を自分なりの言葉でまとめている。 （感想用紙） ○吹き出しの形式を用い，児童の思いが自由に書けるようにする。